大学と家庭をむすぶ　後援会通信「グロース」秋号

GROWTH

東北学院大学
TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

vol.31 — 2017 Autumn

リレーインタビュー

12,000の瞳、12,000の輝き。

学生時代は、多くのことに出会い、
気づき、

CONTENTS

私

TGU IZUMI TAGAJO TSUCHITOI TGUFES2017

10.8sun.9mon.13fri.14sat.15sun

PHOTO & REPORT

東北学院大学3キャンパス大学祭リポート

大歓声に沸いたステージや、趣向を凝らした各種展示や、おいしさ目白押しの露店。
秋空の下、3キャンパスで開催された大学祭の様子をご紹介します。

IZUMI

TSUCHITOI

TAGAJO

TGUFES2017_izumi
実行委員／副委員長

人間科学科2年
島貫 紗英子さん

唯一の大学祭で、全員がひとつになろう。そんな思いを込めた「ONE」というテーマの下、計5日間の規模で開催された泉・土樋キャンパス共同の大学祭。先陣を切って10月8・9日に行われた泉キャンパス祭は、盛大なオープニングセレモニーで開幕。特設ステージではバンドライブやダンス、各演舞、ベガルタ仙台アンバサダー・平瀬智行さんのトークショーなど、間髪を置かずに楽しい催しが繰り広げられ、絶えずにぎやかな声が響きました。そして、泉キャンパス祭の代名詞となっている「おばけ屋敷」の恐怖は今年も健在。こちらは特設ステージ会場とは違い、絶叫がこだまする結果に。多彩な企画があるなかで、今年最大の注目を集めたのは、9日に行われた俳優・桐谷健太さんのトークショーです。整理券配布には長蛇の列ができ、会場となった礼拝堂は当然のごとく超満員。テレビCM"三太郎"シリーズでもおなじみの桐谷さんの登場に、悲鳴にも似た歓声が沸きました。もちろん各サークルやグループの個性が光る露店や展示も大人気。実行副委員長の島貫紗英子さんは「次につながる2日間になりました」と、2キャンパス共同大学祭の前半戦をトラブルなく終えられたことに、安堵の表情を滲ませていました。

TGUFES2017_tsuchitoi 実行委員

委員長
法律学科3年
佐藤 洸弥さん

副委員長
経済学科3年
刈田 忍さん

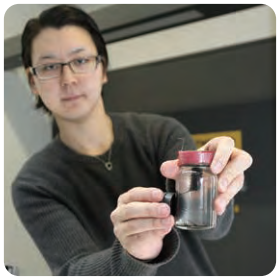
13日から舞台を土樋キャンパスに移して行われた2キャンパス共同大学祭の後半戦、六軒丁祭。実行副委員長の刈田さんが「ステージのクオリティは年々高くなっています」と話すように、今年もダンスに、ライブに、漫才と、笑いあり、感動ありの多彩なステージが来場者を楽しませました。14日には西公園をスタート地点に、ユニークな仮装をした200人超の学生が練り歩く「仮装パレード」を実施。街ゆく人に六軒丁祭をPRしながら大いに盛り上げてくれました。また、東日本大震災で被害を受けた地域との交流の観点から、女川産の秋刀魚を特価でふるまう「秋刀魚祭り」では、用意した200匹があっという間に売り切れに。そして迎えた最終日。特設ステージでは恒例の「ミス・ミスターコンテスト」が開催され、10人の美男美女の登場に会場が沸きました。その余韻を残したまま突入したグランドフィナーレでは、豪華景品が当たる抽選会も行われ、泉・土樋キャンパス共同の大学祭は大盛況のうちに終幕。実行委員長の佐藤さんが「無事に成功させることを考えて準備してきたので、ほっとしています」と振り返る今年の一大イベント。「ONE」というテーマの通り、心がひとつになる時間が、そこにありました。

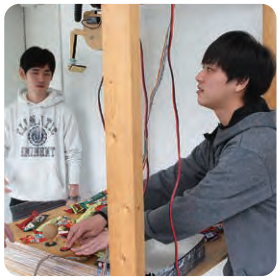
TGUFES2017_tagajo 実行委員

委員長
環境建設工学科3年
中川原 美咲さん

副委員長
環境建設工学科3年
安田 陸さん

前夜、開幕を告げる花火が夜空に咲き、14・15日に多賀城キャンパスで開催された工学部祭。昨年よりもさらに素晴らしい時間を、今までにない大きな変化を。その思いから、実行委員会が掲げた今年のテーマは「CHANGE」。メインステージで、各展示で、それぞれ趣向を凝らした企画が用意され、来場者に大きな感動と新しい発見を届けました。まずはメインステージ。工学部祭ナンバーワンを決める「学生対抗」にはじまり、ダンス部やF研&ロックバンド部によるパフォーマンス、人気企画「ミスコン」など、熱く、楽しい催しがステージを盛り上げてくれました。ボルテージが最高潮に達したのは15日の午後。今年、工学部祭の目玉として企画された、人気バンド「Aqua Timez(アクアタイムズ)」のアーティストライブです。その時間、会場はロックフェスさながらの熱気を帯び、一帯は感動のるつぼに。また、毎年恒例の「チャリティーバザー」や、工学部ならではの実験や研究を体験できる展示も大好評。実行委員長の中川原さん、副委員長の安田さんは「本当に多くの方が来てくれて、昨年とはまた違う達成感や一体感がありました」と声を揃え、多くの笑顔が咲いた2日間となりました。

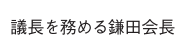




次第

日　時　平成29年5月27日（土）10時55分～
会　場　東北学院大学土樋キャンパス ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
司　会　後援会事務局長　渡邊 義春

1. 開　会 …… 司会者
2. 聖書朗読並びに祈祷 …… 宗教部長 野村 信
3. 挨　拶 …… 会長 鎌田 宏
   学長 松本 宣郎
4. 議　事
   （1）平成28年度後援会庶務報告について …… 庶務担当理事 白木 進
   （2）平成28年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告について …… 会計担当理事 浅野 ひとみ
   監事 佐浦 みどり
   （3）平成29年度後援会事業計画（案）について …… 庶務担当理事 白木 進
   （4）平成29年度後援会収支予算（案）について …… 会計担当理事 浅野 ひとみ
   （5）東北学院大学後援会規約の改正について …… 事務局長 渡邊 義春
   （6）その他
5. 後援会役員紹介 …… 司会者
6. 閉　会 …… 同上



議長を務める鎌田会長

総会の様子

土樋キャンパスに、約880名の保護者をお迎えし、平成29年度の後援会総会並びに大学開放プログラムを開催いたしました。総会で審議されました内容は次のとおりです。

（1）平成28年度後援会庶務報告について

白木進庶務担当理事より、役員人事、平成28年度役員会、平成28年度後援会総会並びに大学開放プログラム、平成28年度地区後援会実施状況について報告があり、原案通り承認されました。

（2）平成28年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告について

浅野ひとみ会計担当理事より報告があり、原案通り承認されました。佐浦みどり監事より帳簿等が正確に整備されていることについて監査報告がなされました。

（3）平成29年度後援会事業計画（案）について

白木進庶務担当理事より、平成29年度後援会総会、平成29年度地区後援会、資格取得報奨制度について説明があり、原案通り承認されました。

（4）平成29年度後援会収支予算（案）について

浅野ひとみ会計担当理事より説明があり、原案通り承認されました。

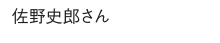
（5）東北学院大学後援会規約の改正について

渡邊義春事務局長より説明があり、原案通り承認されました。

大学開放プログラムでは、ラーハウザー記念東北学院礼拝堂でのパイプオルガンコンサートのほか、昨年秋から利用開始されたホーイ記念館が初めて保護者の皆さまに開放され、1・2年生対象と3・4年生対象に分かれての「学生の就職を考えるセミナー」、学生部・就職キャリア支援部・国際交流部による個別面談が開催されました。
また、ホーイ記念館内のラーニング・コモンズ、シュネーダー記念東北学院大学図書館、博物館、東北学院史資料センター、学生支援室・学生相談室が開放され、多くの方が施設見学に訪れました。さらには、俳優の佐野史郎氏を招いて、「小泉八雲の朗読から観えるもの」と題した教養セミナーが行われました。会場は熱気にあふれ、盛会裏に終えることができました。

学生の就職を考えるセミナー

個別面談



佐野史郎さん

保護者と学生のための教養セミナー

■来年度は平成30年5月26日（土）に開催の予定です。ご案内状は4月下旬に発送の予定です。

CAMPUS NEWS

決してあきらめない。
圧倒的な練習量で世界一に。

少林寺拳法世界大会、女子単演級拳士の部

法学部 法律学科 3年
成田 祐佳さん

今年7月末、海の向こうからビッグニュースが飛び込んできました。サンマテオ市（米国）で開催された『2017少林寺拳法世界大会 in カリフォルニア, USA』の「女子単演級拳士の部」において、成田祐佳さん（大会出場当時3級）が世界一に輝いた！との朗報です。

少林寺拳法を始めたのは、大学に入ってから。「中学の頃から警察官に憧れていました。スポーツは中学、高校とソフトボールに打ち込んできましたが、少林寺拳法は逮捕術、護身術につながると聞き、挑戦してみようと思いました」。なんと2年半でつかんだ栄誉です。

部活動では週に4回、3時間余りを練習に費やします。技法のほか、歴史や教え、思想といった背景を学ぶことも修行の柱。少林寺拳法は、肉体の修練だけではなく、精神修養も重視される面に特徴があります。

プレッシャーにとても弱いタイプと自己分析する成田さん。大舞台に立つ勇気と自信を支えてくれたのは圧倒的な練習量でした。「世界大会への出場が決まってからは、導師（先生）から直接指導を受けるなど、練習を週6回に増やし、自宅でも体幹トレーニングに励みました」。これまでで最も苦しかったという日々を重ね、精神的にも大きく成長できたと語ります。「優勝しましたが、反省すべき点が多々あります。さらに基本に忠実に技を磨き、有段の部でも1位を目指します」。道場にこだまする気合に、強い決意が宿っています。

発掘調査期間（5週間程度）は、現場付近に合宿をします。宿舎の手配から移動手段、買い出しや食事の輪番（3食自炊です）など、計画から運営、予算管理まですべてゼミ学生たちが担います。「合宿中は男女共同参画、協力しながら仕事を分担します。みんな期待以上の働きをしてくれます、頼もしいですよ」。合宿で様々な経験をし、ひと回り成長した学生たちの姿を見ることが教師としての大きな喜びです、と辻先生は語ります。

1500年以上前の地方豪族の姿、あらわる。

古墳時代中期（5世紀後半）に築かれたことがわかった灰塚山古墳は、全長61メートルを超える大型の前方後円墳です。鍵穴のような形をした前方後円墳は、大和（やまと）王権が権力基盤を強化していく中で、地方の豪族に築造を許可した形式であると考えられています。これまで会津盆地には古墳時代中期の大型古墳は発見されておらず、私はこの時期、当地の豪族は大和王権から離脱したのではないかと推察してきました。今回の調査は従来の理解を覆すもので、私もこれから新たな歴史像を編んでいかなくてはなりません。

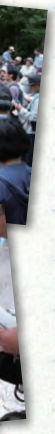
さて、灰塚山古墳にはどんな人物が埋葬されているのでしょう。後円部からは二つの棺が発見されています。一つは木製の棺であったとされ、副葬品として青銅製の鏡やガラス玉の腕飾り、大刀1振りなどが残されていました。また多くの竪櫛（たてぐし：縦長で歯の部分が特に長い古代の櫛）を遺体の上に供えた様子が見て取れます。こうした儀式を知ることのできる資料は日本中のどこにも存在しません。武器が供えられていないことから、女性が葬られたのだと推察されます。

二つ目の棺は、複数の板石・石蓋を組み、隙間や周囲を粘土で固めるという非常に丁寧な造りの石棺です。多量の鉄製武器が見つかっており、死者が守られることを祈る儀式が執り行われたこと、そして大和王権との深い関係性が伺えます。内部が赤く彩色された石棺内からは、ほぼ完全な状態で全身人骨が見つかりました。古墳時代の支配者の全身骨が発見されたのは東日本で初めて、全国でも数例というきわめて稀なものです。

地道に根気強く。ゼミ学生たちの努力に感謝。

出土した全身骨から、どこまで被葬者の具体像に迫ることができるのでしょうか。まず、性別、年齢、身体的特徴、病歴などがわかります。また、放射性炭素年代測定、DNA分析、窒素同位体分析などの最先端の科学的手法を通じて、死亡した年代や出自、食生活などを解明できる可能性があります。さらに顔面の状態が良ければ復顔できるかもしれません。今後は、各専門分野の研究者と協働しながら進めていきます。

7年間に及んだ今回の発掘調査は、本ゼミ生の活躍がなければ果たせぬことでした。実は、掘り進めても特筆すべき成果のない年もあったのです。地道な努力に心から感謝したいと思います。しかし、灰塚山古墳の研究はまだ道半ば。「見つけたものから、何を見出すのか」が考古学の本質です。これからも遺物・遺構が語り掛けてくるものに耳を傾けていきたいと思います……といっても、彼らはとても無口ですから（笑）、注意深く観察し、先行研究が積み上げてきた知見を照らしながら、広く深く考察していきます。



辻カップ（卓球大会）の様子

MY FAVORITE

私のお気に入り

ボール（羽球のバドミントン含む）を使う競技なら何でも得意という辻先生。「発掘調査が雨で中止になった時など、体育館やボーリング場で『辻カップ』争奪の球技大会を開催するのですが、本気を出すと優勝してしまうので自重しています（笑）」。考古学は、貴重な遺物を大切に扱ったり、緻密に記録したりする繊細さを求められる一方、炎天下や木枯らしの中での力仕事・野外作業をこなすタフさも要求されます。「スポーツは、研究のための基礎体力づくりでもあります」と辻先生。